
数学協働だより 2015年6月号

☆2015年度公募

数学協働プログラムワークショップ・スタディグループの公募は、2015年5月28日
をもちまして終了いたしました。

たくさんのご応募をいただき、厚く御礼申し上げます。

採否は6月中旬から下旬にかけて、ご応募いただいた運営責任者の皆様にご案内い
たします。

☆「数学・数理科学分野と物質・材料科学分野の協働 意識調査2015」

文部科学省委託事業「数学協働プログラム」数理・材料科学作業グループの活動の
一環として、「数学・数理科学分野と物質・材料科学分野の協働の現状」について
の調査を、4月23日より開始しております。

本調査は、数学・数理科学分野と物質・材料科学分野の協働の鍵となる相手や、テ
ーマを見つけるきっかけとなる情報を収集・取りまとめをし、多くの方が簡単に共
有できるようにすることを目指すものです。

本調査により皆様から寄せられた「協働による解決が見込める課題や取り組み」
「個々の分野の研究テーマや問題意識」等を報告書の形にまとめ、2015年度末から
2016年度始めに一般公開する予定です。回収した調査票は、調査報告書作成のみに
使用いたします。

本調査及び報告書は、異分野協働による研究活動の情報収集および発信の一助とな
る事を目指しております。つきましては、数学・数理科学分野と物質・材料科学分
野の協働に関心をお持ちの皆さまに、下記の調査を周知及び御協力をいただけまし
たら幸甚に存じます。

調査票リンク：<http://coop-math.ism.ac.jp/info/MathMate-comm#opinions>

調査期間：2015年10月31日（土）まで

☆数理・生命科学作業グループからの「提言書」

2015年3月23日、「数学連携ワークショップ～生物学と数理科学の協働～」@日本数学会2015年度年会にて、数理・生命科学作業グループより

「数学協働プログラム提言『数理生命科学』」

が公開・配布されました。この提言書では、数学が生命科学の様々な分野において既に多岐にわたって利用され、分野の基礎となっている現実を紹介すると同時に、これから分野の発展に寄与すると考えられる数学的手法や視点についての情報を提供しております。

現在、下記URLにて一般公開しております。

<http://coop-math.ism.ac.jp/info/coop-math-life>

皆様の活動の更なる発展に繋がれば幸甚に存じます。

☆数理材料科学コミュニティ

2015年2月9日、数理材料科学作業グループにおける議論を基に、新事業「数理材料科学コミュニティ」の運営を開始いたしました。

<http://coop-math.ism.ac.jp/info/MathMate-comm>

数学・数理科学分野と物質・材料科学分野の協働による研究活動に関心をお持ちの方々にとって、様々な活動の情報を気軽に発信・共有するための触媒となり、異分野間の共同研究や開発、新研究課題や学術分野の萌芽など、皆様の活動の益々の発展に役立てていただく事を目的としております。

関心をお持ちの方はぜひ上記サイトをご覧ください。

☆SNSサービス 実施中！

○数学協働プログラムでは、Facebook, Twitterでの告知も行っております。数学協働プログラムの行事だけでなく、協力機関の異分野協働関連行事も宣伝しております。ぜひフォローおよびシェアをお願いいたします。

数学協働公式Facebook : <https://www.facebook.com/CoopMath>

数学協働公式Twitter : @CoopMath

○書店や他の団体のアカウントと提携し、幅広い分野の書籍の情報や、各地で行われている数学と諸科学・産業の協働による取り組みをより広く収集・発信していきます。

○Twitterにて使用しておりました #CoopMath2014 につきまして、2015年度版を新たに作成しました。新ハッシュタグは #CoopMath2015 です。

<http://coop-math.ism.ac.jp/info/Summary>

こちらもぜひご利用ください。

○上記以外にも、数学と諸科学・産業の協働に関する情報を入手次第、本SNSサービスを通して発信しております。数学と諸科学・産業の協働に関連する取り組みのSNSサービスによる発信を希望される方は、事務局までお問い合わせください。